

細胞診 症例アトラス 解説文

<子宮頸部>

萎縮性膣炎 atrophic vaginitis 好中球を背景に傍基底細胞が主体 閉経後の変化

OG 好性細胞に注意(扁平上皮癌との鑑別)

カンジダ症 candidiasis 表層細胞の串刺し像 仮性菌糸、孢子の確認

臨床的にかゆみやおりものを生じる 反応性に核腫大を伴う

トリコモナス感染 trichomonas colpitis 好中球大、西洋梨状 好酸性顆粒が見られる

感染による核腫大や核周明庭に注意 多数の好中球にライトグリーン球体の背景

ヘルペスウイルス感染 herpes virus infection 核のすりガラス状変化(無構造核)、多核化、

圧排像が見られる N/C 比大であるため注意する

修復細胞 cervical repair cell 平面的シート状で核長軸方向に流れがある

核は中心に位置し、核小体明瞭であるがクロマチンは均一細顆粒状

良性細胞の放射線変化 radiation change OG、ライトグリーンの二染性が見られる

核小体は認めない クロマチン均一、細胞質の空腔変性を伴う

未熟扁平上皮化生 immature squamous metaplasia クロマチン均一、核の腫大

予備細胞との連続性 HSIL との鑑別(ASC-H) P16, Ki-67 少数陽性

ASC-US atypical squamous cells of undetermined HPV 感染を疑う変化

質的、量的に軽度異形成に至らない核の変化 化生細胞や閉経後の変化と区別

LSIL 軽度異型扁平上皮 Mild dysplasia 80%で高リスク HPV が検出 クロマチン増量

表層から中層細胞にコイロサイトーシス(核周明庭)が見られる N/C 比 1/3

HSIL 中等度異型扁平上皮 moderate dysplasia 基底側 1/2 で核異型が見られる

LBC における HCCG に注意する 集塊内の分裂像を確認 N/C 比 50%

HSIL 高度異型扁平上皮 severe dysplasia 基底側 2/3 で細胞異型が見られる

核縁不整 クロマチン不均一 核小体は目立たない N/C 比 70% HPV16, 18 に注意

HSIL 上皮内癌 carcinoma in situ 上皮全層が類円形均一核、クロマチン増量細胞で置換

核に立体感(緊満感)がある 均質、単調な形態 N/C 比 80%以上

SCC 扁平上皮癌 squamous cell carcinoma 角化型、非角化型、特殊型 多彩な形態

出血、壊死背景 LBC 内ブランによる cellblock 作製 p16 過剰発現

AGC atypical glandular cell 反応性及び腫瘍性の腺異型細胞であるが、腺癌の判定に

至らない 扁平上皮変化との鑑別(両者の伴う病変あり)

AIS 上皮内腺癌 adenocarcinoma in situ 60%で HSIL 併存 重層性粘液産生病変に注意

30, 40 歳代に好発 核の偽重積像や羽毛状構造 核の飛び出し像

通常型内頸部腺癌 endocervical adenocarcinoma, usual type 核大小不同 核小体明瞭

細胞質内粘液 集塊辺縁のほつれ 頸部、内膜の腺鑑別は通常 p16(+), ER(-)

粘液性癌 adenocarcinoma mucinous carcinoma 細胞質内に豊富な黄色調粘液を持つ腺癌

不規則な重積を示す集塊で N/C 比大、クロマチン増量した核所見である HPV の確認

小細胞神経内分泌癌 Other malig. Small cell carcinoma 他部位原発と同様像

木目込み細工様核圧排像 神経内分泌の免疫染色が有用である

悪性リンパ腫 Other malig. malignant lymphoma lymphoma-like lesion との鑑別が重要

子宮内膜間質肉腫との鑑別 免疫染色での評価

<外陰部>

腺癌(大腸)adenocarcinoma 重積集塊で腺腔形成が見られる

楕円核で核小体明瞭の高円柱状細胞集塊に注目

悪性黒色腫 malignant melanoma 核内抜き打ち状空腔 メラニン顆粒の確認

通常は出現する癌細胞は少数

<子宮体部>

増殖期子宮内膜細胞 endometrium in proliferative phase 棍棒状、シート状上皮集塊

背景に間質細胞 分泌期と区別する

子宮内膜間質細胞 endometrial stromal cell 細胞質不明瞭 紡錘形細胞の集合体

同一標本での上皮細胞と間質細胞を確認する

ホルモン環境異常に伴う変化 EGBD endometrial glandular and stromal breakdown

間質凝集塊 血小板成分 細血管が出現し間質優位である(上皮、間質の確認)

子宮内膜化生 endometrial metaplasia 腺管密度や構築、化生変化の範囲が重要

多彩な化生性変化がある 線毛を認める 小集塊での化生に注意

子宮内膜増殖症 endometrial hyperplasia 間質成分を伴い 2 相性がある

腺細胞末端に拡張を認め球状の増生が見られる 腺管優位となる

子宮内膜異型増殖症 atypical endometrial hyperplasia ATEC-A 腺管が優勢で密に増殖

篩状構造等構造異型に注目 生検での確認 G1 との鑑別

高分化類内膜腺癌 G1 endometrial adenocarcinoma 腺管構造が大半を占める

間質少数 Back to back 構造 篩状構造 核の集塊辺縁への飛び出し像

中分化類内膜腺癌 G2 endometrial adenocarcinoma 頸部標本にも癌細胞が

出現することがある 腺癌の不規則細胞集塊に加え周辺に散在性腺癌細胞が見られる

低分化類内膜腺癌 G3 endometrial adenocarcinoma 漿液性腺癌との鑑別が重要

核小体明瞭な未分化な細胞が散在性に多数出現する 子宮頸部標本にも出現をみる

漿液性腺癌 serous adenocarcinoma 高度異型細胞の分岐乳頭状増殖 卵管采要確認

背景に内膜増殖症を否定 砂粒体の確認 p53 強陽性 卵管上皮に似た性格

癌肉腫 carcinosarcoma 腺癌細胞集塊と由来不明な紡錘状肉腫様細胞が見られる

高齢者に多く、ポリープ状発育 肉腫成分は異所性成分もある(中胚葉性混合腫瘍)

平滑筋肉腫 leiomyosarcoma 辺縁鈍な棍棒状核で大小不同、不規則性が見られる

壊死背景に細胞密度が高く、多形性になる 核分裂像もみられる

内膜間質肉腫 endometrial stromal sarcoma 悪性リンパ腫との鑑別が重要

子宮頸部標本にも注意する 低異型度、高異型度、未分化に分類 CyclinD1, CD10 陽性

胞状奇胎 hydatidiform mole 絨毛性疾患 栄養膜細胞に由来する疾患 水腫状変化

ランゲハンス型、ジンチチウム型栄養膜細胞 p57^{KIP2} 染色態度にて疾患鑑別する

<卵巣>

腺腫 adenoma 漿液性、粘液性 境界悪性では不規則な細胞増生になる

分泌物を背景に核に異型はなく柵状に配列し、集塊辺縁は直線状である

明細胞腺癌 clear cell adenocarcinoma 子宮頸部から卵巣、腹水においても同様所見

腺腔形成 基底膜物質の異常蓄積 明るい細胞質を持つ充実性、乳頭状増生

顆粒膜細胞腫 granulosa cell tumor 片側性腫瘍でコーヒー豆様核溝や call-exner 小体

性索間質性腫瘍で顆粒膜細胞への分化 小円形細胞 多彩な組織像(小濾胞状、索状)

未分化胚細胞腫 dysgerminoma リンパ球背景にグリコーゲンを含む大型腫瘍細胞

類円形淡明な細胞質と明瞭な核小体 β hCG, c-kit, Oct4 陽性

<呼吸器>

肺胞蛋白症 pulmonary alveolar proteinosis 気管支洗浄液にて白濁を認める

コレステリン沈着 PAS 陽性の顆粒状から球状でリン脂質に富む高蛋白質

アスペルギルス症 aspergillosis 隔壁を有し Y 字状菌糸を見る

球状の分生子頭や尿酸カルシウム結晶に注意 3種の病態がある

ニューモシスチス肺炎 pneumocystis pneumonia 微細泡沫状集塊が見られる

通常、ギムザ染色が有用 胸部レントゲンにてびまん性すりガラス影を呈する

クリプトコッカス症 pulmonary cryptococcosis 直径2~15 μ m 円形酵母型真菌

多核巨細胞の細胞質に貪食される肉芽腫病変時は注意

肺結核症 pulmonary tuberculosis 非定型抗酸菌症との鑑別が必要 多核巨細胞

核が馬蹄形に配列した Langhans 型巨細胞 類上皮細胞が融合

基底細胞増生 basal cell hyperplasia リンパ球やカルチノイド腫瘍との鑑別

均一なクロマチン、類円形核で立方状の細胞質 核間距離均一

杯細胞増生 goblet cell hyperplasia 粘液性腺癌との鑑別

線毛の確認 核間距離、核縁整、クロマチンの増量は認めない

反応性腺系異型細胞 reactive atypical columnar cell 線毛を認める

細胞集塊辺縁整(核の突出像は認めない) クロマチン均一 腺系悪性細胞との鑑別

肺過誤腫 pulmonary hamartoma 軟骨成分を主体に間質成分が混在する

粘液腫様間質成分と無構造な軟骨細胞が見られる 限局性病変の画像所見が重要である

硬化性肺胞上皮腫 sclerosing pneumocytoma II型肺胞上皮細胞由来

多彩な細胞像とヘモジデリン貪食組織球 上皮細胞集塊に注意

肉芽腫性腫瘍 granulomatous tumor 良性肺腫瘍 多彩な細胞像

壊死背景に組織球、上皮細胞集塊が見られる

中等度異型扁平上皮細胞 moderate squamous dysplasia **肺がん検診 C 判定**

N/C 比、クロマチン軽度増量 OG 濃染傾向となる

高度異型扁平上皮細胞 severe squamous dysplasia 扁平上皮癌に比し、細胞量が少数で

異型に乏しい 量的、質的に扁平上皮癌に至らない 3日連続痰にて評価

扁平上皮癌 squamous cell carcinoma 気管支壁より隆起する充実性腫瘍

角化や細胞間橋を示す 壊死部では空洞化する p40, CK5/6, p63 陽性

声門 扁平上皮癌 squamous cell carcinoma of the larynx 核小体明瞭、類円形核

喀痰中に出現する症例に注意 上皮内癌に類似する

腺癌(置換型) adenocarcinoma lepidic subtype 核内細胞質封入体

3cm 以下の小型腫瘍 TTF-1, napsin A 陽性 EGFR 肺癌に多い

腺癌 adenocarcinoma 核偏在、小集塊から散在傾向 N/C 比大、核小体明瞭

粘液型、印環細胞型は ALK 陽性が多い

転移性腺癌(大腸癌) metastasis adenocarcinoma (colon) 壊死を伴う高円柱状核

原発腸型腺癌との鑑別 CK20, SATB2 陽性

腺扁平上皮癌 adeno-squamous carcinoma 非小細胞癌、NOS 両者 10%認める

脈管侵襲が高頻度 p40, TTF-1 有用

小細胞癌 small cell carcinoma 高悪性度神経内分泌癌 免疫染色による確認

細胞質に乏しく、木目込み細工様の小型円形核配列 LCNEC との鑑別

カルチノイド腫瘍 carcinoid tumor 他部位原発(神経内分泌腫瘍)も同様所見

典型的、非典型的、紡錘型 気管や太い気管支粘膜下に発生 小型偏在核

大細胞神経内分泌癌 LCNEC large cell neuroendocrine carcinoma 壊死背景

核小体明瞭 小細胞癌や異型カルチノイドとの鑑別 リンパ節転移を見る

腺様嚢胞癌 adenoid cystic carcinoma 気管支腺由来で多臓器原発と同様の細胞像

大小の硝子様、粘液様の無構造物を取り囲む細胞集塊が見られる

多形癌 pleomorphic carcinoma 肉腫様の多彩な細胞像を認める上皮性腫瘍

炎症、壊死背景に紡錘細胞や巨細胞が見られ結合は緩やかである

<唾液腺>

腺房細胞 acinar cell ブドウの房状腺房細胞と好酸性導管上皮が見られる

裸核状筋上皮細胞や脂肪細胞と混在するため腫瘍成分とは鑑別可能

多形腺腫 pleomorphic adenoma 間質粘液に導管上皮系細胞と筋上皮系細胞が混在する

中年女性好発、充実性で多彩な組織像 6%に多形腺腫由来癌(導管癌)

ワルチン腫瘍 warthin tumor 好酸性細胞の増殖とリンパ球性間質からなる腫瘍

高齢男性、耳下腺好発 コレステリン結晶や角化扁平上皮もみられる

オンコサイトーマ oncocytoma 細胞質が好酸性で細顆粒状、核小体明瞭、N/C 比小

高齢者耳下腺好発 PTAH, 抗ミトコンドリア抗体陽性

粘表皮癌 mucoepidermoid carcinoma 粘液細胞、類表皮細胞、中間細胞からなる

化生傾向を見る細胞質 嚢胞形成と充実性成分が混在する

腺様嚢胞癌 ACC adenoid cystic carcinoma 導管上皮と筋上皮からなる 篩状構造

基底細胞腺腫との鑑別 高度の神経周囲浸潤を示す 篩状型、管状型、充実型がある

唾液腺導管癌 salivary duct carcinoma コメド壊死を伴いアポクリン含む好酸性細胞質

壊死背景 多形腺腫由来癌が多い、高齢者男性、耳下腺好発 AR 発現

<消化器>

赤痢アメーバ amebic dysentery 栄養型アメーバで顆粒状胞体と円形核、赤血球貪食像

核が偏在し組織球様 PAS 染色有用 粘血便や肝膿瘍中にみられる

胆嚢良性細胞(胆嚢内乳頭状腫瘍) ICPN 乳頭状増生を認めるが、細胞集塊辺縁は整で

細胞質に包まれ、外周の核は規則的な柵状配列を示す

管状腺腫 tubular adenoma 上皮細胞の密度が高く、高円柱状で楕円形核が規則的に配列

基底側部に索状配列し重積する 異型度により不整となる

腺癌(胆汁) adenocarcinoma 通常、高分化型乳頭管状腺癌の形態をとる

不規則な重積性 核配列不整 集塊辺縁不整 P53 陽性

浸潤性膵管癌 pancreatic ductal adenocarcinoma 円柱状から立方状で粘液を含む

IPMN と鑑別 高齢男性、膵頭部に多い 高分化では異型に乏しい MUC1, MUC5AC 陽性

膵管内乳頭粘液性腺腫 intraductal papillary mucinous adenoma IPMA

高齢男性、膵頭部に多く経過が長い 核偏在の高円柱状核と豊富な粘液が見られる

膵管内乳頭粘液性腺癌 intraductal papillary mucinous carcinoma IPMC

不規則に重積した乳頭状集塊で N/C 比大、クロマチン増量を認める

膵腺房細胞癌 acinar cell carcinoma 腺房構造を有する小集塊で出現し、核が外側に突出し

N/C 比大、核小体も明瞭である

神経内分泌腫瘍(膵) neuroendocrine neoplasm (Pan NEN) Grade1-3 境界明瞭

ロゼット構造、索状、リボン状を示し血管に富む 腺房細胞癌や SPN との鑑別

充実性偽乳頭状腫瘍 solid-pseudopapillary neoplasm SPN シート状で散在する充実細胞と

乳頭状様血管間質軸を有する 若年女性に好発するがその他、男性発生に注意

粘液癌 mucinous carcinoma 細胞外に粘液を産生し、粘液結節が形成される

粘液産生の球状細胞集塊 核間距離不整 他の組織像との混在型あり

カルチノイド腫瘍 carcinoid tumor 粘膜深部から粘膜下組織で増殖 類円形核

神経内分泌腫瘍は NET1,2、NEC、MANEC に分類される

消化管間質腫瘍 GIST gastrointestinal stromal tumor 胃、小腸壁の固有筋層に連続

消化管運動を調整する Cajal 介在細胞由来 c-kit, CD34, DOG1 陽性

肝細胞癌 高分化 hepatocellular carcinoma 偽腺管、小型化、細胞密度増大、脂肪化伴う

細胞密度、N/C 比高い 淡明細胞化 glypican-3 陽性

肝・転移性腺癌 大腸 metastatic adenocarcinoma 管内胆管癌との鑑別が重要

血行性転移が主体 多くは壊死背景である 大型円柱状核

<口腔>

口腔ヘルペス感染 herpes infection 喀痰での出現に注意

他部位発生の細胞像と同様 免疫抑制剤等加療中に出現する

再生上皮細胞 regenerative epithelial cell 扁平上皮癌との鑑別

核小体明瞭であるがクロマチンは均一で核長軸方向に配列

<体腔液>

良性中皮細胞 benign mesothelial cell 悪性とする所見に乏しい 腸閉塞時出現

N/C 比 1/2 以下 クロマチン均一 核縁整 Desmin 陽性

悪性中皮腫 malignant mesothelioma 上皮型、肉腫型、二相型がある 集塊、弧在性

多核 細胞質突起 核間距離不整 Calretinin, CK5/6, WT1, D2-40 陽性

腹膜偽粘液腫 pseudomyxoma peritonei 虫垂由来の精査、粘液癌との鑑別が必要

中皮細胞や円柱上皮が見られる

腺癌 adenocarcinoma きれいな背景に不規則な重積を示す細胞小集塊が見られる

核間距離不整で集塊外側での核突出像を認める

印環細胞癌 signet ring cell carcinoma 細胞質内に粘液を貯留 散在性出現時注意する

中皮細胞や組織球との鑑別

小細胞癌 small cell carcinoma 体腔液であるためやや重積集塊や核間距離が見られるが

基本的には木目込み細工様結合を認める

明細胞癌 Clear cell carcinoma 核が管腔側に突出しホブネイル様外観を呈する

大型球状集塊や石灰化物質を認める

脂腺癌 sebaceous carcinoma 皮脂腺由来、細胞質に脂肪成分が豊富 眼瞼部注意

泡沫状で明るい胞体を持つ バジレット様表皮内進展を伴う adipophilin 抗体(+)

形質細胞腫 plasmacytoma 車軸状核と核周明庭を伴う塩基性細胞質

核の多核化も見られる 細胞像は治療により変化するため注意

ATL adult T cell lymphoma (ATLL) 強拡大によりクローバ状核が見られる

核にくびれや切れ込みが強い T 細胞系免疫染色陽性

<泌尿器>

デコイ細胞 decoy cell N/C 比が大であるため尿路上皮癌との鑑別が重要である

すりガラス状クロマチンに注目する BK ウィルス感染細胞 SV-40T 陽性

良性尿路上皮細胞 benign urothelial cell N/C 比は 1/2 以下 集塊辺縁整

核の位置は中心性で類円形である 低異型度尿路上皮癌との鑑別

尿路上皮癌 urothelial carcinoma 非浸潤性、浸潤性 N/C 比、クロマチン、核小体

低異型度、高異型度 相互封入像を見る GATA3 陽性

腺癌 印環細胞型 adenocarcinoma 膀胱粘膜もしくは尿管(膀胱頂部)から発生

尿路上皮癌(腺への分化を伴う)成分を認めない 扁平上皮癌も同様

腺癌 子宮体部腺癌 adenocarcinoma レース状細胞質、核偏在が見られる

細胞小集塊で出現している 核小体明瞭、クロマチン増量、核間距離不整である

<精巣>

精上皮腫 seminoma 浸潤性胚細胞腫瘍 リンパ球背景に単一な淡明細胞の敷石状増殖

グリコーゲン豊富な細胞質 円形から多角形核 核小体が目立つ シート状に配列

<リンパ節>

反応性リンパ節炎 reactive lymphadenitis 各成熟段階のリンパ球を認める

有痛性のリンパ球腫脹 核破砕物を貪食した組織球が出現

亜急性壊死性リンパ節炎 subacute necrotizing lymphadenitis (菊池病 kikuchi disease)

若い女性で頸部リンパ節に好発 壊死(アポトーシス) 活性化 T リンパ球出現

悪性リンパ腫 malignant lymphoma 核分裂像を伴う単調な幼若リンパ球のびまん性増生

B 細胞性が多い 低悪性度は中型リンパ球が主体である

未分化大細胞型リンパ腫 CD30 抗原発現 若年者に多い ALK 高発現 大型腎形核

ホジキンリンパ腫 Hodgkin lymphoma 反応性リンパ球を背景に核小体明瞭な巨細胞

古典的 4 型 CD30, CD15 陽性 結節型リンパ球優位型 CD20 陽性

転移性腺癌 乳癌 adenocarcinoma 腋下リンパ節穿刺時に注意

原発組織型により細胞像は違うが上皮様集塊を確認する

<乳腺>

線維腺腫 fibroadenoma FA 好発年齢は若く、通常は境界明瞭な画像所見である

乳管成分と間質成分の両者が増殖 二相性が保持 乳腺症型に注意

乳管内乳頭腫 intraductal papilloma 結合性が強く集塊辺縁が細胞質で縁取られている

多くは乳頭直下に発生 二相性を示し、アポクリン化生を伴う 嚢胞内乳頭癌との鑑別

葉状腫瘍 phyllodes tumor 良性、境界病変、悪性 拡張乳管の出現 線維腺腫との鑑別

間質成分が優勢に増殖する 異型紡錘形細胞腫瘍との鑑別

非浸潤性乳管癌 ductal carcinoma in site 類円形均一核 集塊辺縁に核が見られる

篩状 低乳頭状 筋上皮減少 低異型度の多くはホルモン受容体陽性、Her2 陰性である

浸潤性乳管癌 充実型 invasive ductal carcinoma solid type 索状、管状の小集塊

小葉癌、管状癌との鑑別 孤立散在性に出現 神経内分泌癌含む

浸潤性小葉癌 lobular carcinoma 小型均一核で線状配列し硬癌との鑑別が重要である

孤立散在性、線状配列 印環細胞型 ICL が見られる E-cadherin(-)

粘液癌 mucinous carcinoma 豊富な粘液の中に癌巣が浮遊している 血管介在あり

単一細胞で核が集塊の外側に認める 細胞外粘液で浮雲様(濃い粘液に包まれる)

浸潤性微小乳頭癌 invasive micropapillary carcinoma 腋窩リンパ節転移が高い

小集塊で出現し、腺腔分泌面が外向きで核が内側に位置 EMA, MUC-1 線状陽性

アポクリン癌 apocrine carcinoma 好酸性の豊富な細胞質と微小顆粒が見られる

アポクリン DCIS 症例に注意 壊死を伴う GCDFP-15, AR 陽性

化生癌 metaplastic carcinoma 扁平上皮や間葉系分化を伴う多彩な細胞像である

壊死、出血背景に骨軟骨化生を伴っている 癌肉腫様細胞所見である

パジェット病 paget's disease 細胞質に少数のメラニン顆粒が見られる 表皮内に広がる

ヘルペス、炎症性乳癌、乳頭部腺腫、Bowen 病、悪性黒色腫との鑑別

顆粒細胞腫 granular cell tumor 皮膚病変で schwann 細胞に由来する細顆粒状の細胞質

背景を含め好酸性顆粒(ライゾゾーム)が見られる S100 蛋白陽性

<甲状腺>

腺腫様甲状腺腫 adenomatous goiter 多発性、非腫瘍性、結節性増殖 大小の濾胞上皮

多彩な組織像 核大小不同 シート状配列 出血、肉芽形成を伴う

橋本病 hashimoto disease(慢性、自己免疫性甲状腺炎) 好酸性濾胞上皮とリンパ球

びまん性甲状腺腫大 自己免疫性疾患 経過中に悪性リンパ腫の発生あり

濾胞性腫瘍 follicular tumor 単発性、線維性被膜に被包化、圧排増殖する

単一性、小濾胞状 濾胞癌では血行性に転移する 好酸性細胞型がある

乳頭癌 papillary carcinoma 核内細胞質封入体と核溝、重畳核、すりガラス核など

乳頭状、樹枝状集塊 砂粒体、扁平上皮化生伴う CK19 陽性 硬化型は細胞量少数

髄様癌 medullary carcinoma カルチトニン分泌し散在性出現とアミロイド成分含む

上部 1/3 に好発 構造、細胞形態多彩な神経内分泌腫瘍 顆粒状細胞質と核の突出

<脳、軟部、その他>

星細胞腫 astrocytoma クロマチン増量の類円形核と好酸性細胞質で多極性突起を持つ

正常脳実質より細胞密度が高い (grade により高くなる) grade I ~ IV

膠芽腫 glioblastoma 成人大脳に好発し、星細胞系分化を示す高悪性度の多彩な像を呈す

繊細な細胞質突起性の背景と壊死像 多核細胞や巨細胞を見る grade IV

髄膜腫 meningioma クモ膜細胞(髄膜皮細胞)から発生 石灰化と渦巻き状配列

線維芽細胞類似 grade I ~ III 成人女性に多い 球状を呈し圧排性に増殖

ランゲルハンス細胞組織球症 Langerhans cell histiocytosis LCH

多彩な核形(切れ込みなど)を伴う組織球の増生が見られる 好酸球が見られる

軟骨腫 chondroma 雲状の粘液様基質の中に軟骨細胞の核が見られる

腫瘍は硬度なため、強く捺印擦過しないと標本中に出現しない 若年者に好発

巨細胞腫 giant cell tumor 破骨細胞様多核巨細胞が散在性、分葉状に増殖

多結節性発育 間質の硝子化 CD68 陽性 悪性診断は単核細胞形態で判断する

神経鞘腫 neurinoma (schwannoma) 核は紡錘形で柵状(palisading 親兵式様)配列

Schwann 細胞の分化を示す良性末梢神経鞘腫瘍 Antoni A と B が混在

神経節腫 ganglioneuroma 核小体明瞭で巨細胞核であるため悪性としにくい

顆粒状の厚い細胞質

滑膜肉腫 synovial sarcoma 若年層に多い 紡錘形細胞が束状、渦巻き状に配列

細胞密度の高い集塊で出現

悪性黒色腫 malignant melanoma 大型の核小体、メラニン産生の乏しい場合あり

孤立散在性、シート状出現 明細胞肉腫、基底細胞癌、パジェット病との鑑別